

平成 2 2 年度 学校経営計画書

学校番号	8 0	学 校 名	静岡県立浜松北高等学校 (全日制の課程)	校 長 名	鳥居 春仁
------	-----	-------	-------------------------	-------	-------

1 目指す学校像

学問と知性を愛する豊かなこころ、良識に基づく自主独立の精神を基盤として、心身の調和的発達を図り、文化国家の形成者として社会の要請に応えとともに、広く世界的視野に立って人類の発展に寄与できる人間を育成する。

2 中期的目標

(1) 知性と品性を研く

自ら求めて学ぶ姿勢と幅広い教養を身につけさせる。

リーダーに求められる高い品性を身につけさせる。

(2) 自主独立の精神を養い、個性を伸張する

自主独立の前提としての自由には責任が伴うことを理解させる。

学習、生活、進路等に係る様々な指導において、生徒自身に考えさせるという手法を大切にする。

LHR、生徒会、学校行事、部活動等においては、生徒の主体的運営を基本とし、生徒各自がその個性と主体性を発揮できるよう指導する。

他者の個性を認め、自他共に成長していく姿勢を身につけさせる。

(3) 大志を抱く

日本や国際社会の課題に関心を持たせる。

人類発展への寄与を念頭において、自分の進路や人生を考えさせる。

3 今年度の重点目標（学校経営目標）と方策

(1) 学習指導 - 多様化している生徒に対応した教科指導等の改善工夫を行う。

（方策）

公開授業日や授業研究週間等を設け、教科の枠を超えた教員相互の授業参観を積極的に行う。

生徒による授業評価を実施し教科指導の改善工夫を行う。

日々の家庭学習時間の確保を促し生徒各自の自己管理能力を高める。

(2) 進路指導 - 教員の共通理解のもとに、大志を育てる。

（方策）

進路だよりを学年ごとに毎月発行するなどして、生徒と保護者に対し時宜を得た正確な情報を提供する。

特別講義、先輩による課外授業等を通して、専門分野における深い知識、優れた実践等を学ばせる。

大学の学部・学科に関する研究の機会や大学教育に直接触れる機会等を積極的に設け、学問への興味関心を喚起する。

(3) 生活指導 - 品位ある生活態度を養う。

（方策）

基本的な生活習慣(健康管理、時間の厳守等)を確立させる。

教員の共通理解のもと、言葉遣い、挨拶、服装等のマナーについて日常的な定着指導を行う。

日々の清掃活動等を通じて、奉仕活動に積極的に参加する態度を育てる。

- (4) 学校行事 - 社会性、創造性、リーダーシップ等を育てる好機として、生徒の自主的な取組を支援する。

(方策)

学校行事に参加する意義について、上級生から下級生へ伝えるという伝統を大切にす
る。

行事運営委員会へ自ら参加し、リーダーとして活動する生徒を育てる。

学校行事への主体的な参加により得られたものについて、生徒各自に確認させる。

- (5) 効果的な学校運営 - 効率的かつ効果的な学校運営により、教育効果を高める。

(方策)

創意・工夫した事務改善を行うとともに、計画的・効率的な予算執行に努める。

- (6) その他

(方策)

読書、図書広報、読書感想文指導等を積極的に行う。

校外学修や留学生等の受入れを積極的に行い国際理解教育を推進する。

養護教諭・教育相談担当・担任等の連携を強め、一人一人の生徒に適切に対応する。

平成 2 2 年度 学校経営計画書

学校番号	8 0	学校名	静岡県立浜松北高等学校 (定時制の課程)	校長名	鳥居 春仁
------	-----	-----	-------------------------	-----	-------

1 目指す学校像

学ぶ意欲のある青少年や成人に対して、広く学ぶ機会を提供するとともに、学業と勤労の両立を援助し、温かみのある教育を推進する学校づくりを目指す。

生徒が自信を持って社会に旅立つことのできる学校

生徒が安心して学ぶことのできる学校

保護者及び地域から信頼される学校

2 中期的目標

- (1) 基礎学力の確実な定着と自ら学び自ら考え課題解決に取り組む力の育成を図る。
- (2) 基本的な生活習慣の確立と社会人として通用するマナーや規範意識の育成を図る。
- (3) 生徒一人一人の勤労観・職業観を育てるとともに、主体的に進路を選択し、進路希望の実現を図ることができる能力を育成する。
- (4) 心身の健康保持・増進や安全対応能力の向上を図るとともに、教育相談体制を充実させる。
- (5) 家庭や職場、地域と連携し、組織的・機能的な学校運営を推進する。

3 今年度の重点目標（学校経営目標）と方策

- (1) 学習内容の精選、重点化を図るとともに、多様な生徒に対応したきめ細かな授業を行う。

（方策）

- ・わかりやすい授業にするための改善・工夫を継続的に行う。
- ・1、2年生を中心に少人数指導を積極的に実施する。
- ・日本語力の低い外国人生徒のため個別に日本語指導を行う。
- ・定期的に全職員で生徒の学習状況の情報交換会を実施する。

- (2) 学校生活全般を通し時間厳守を励行させるなど集団生活に必要なルールやマナーを身につけさせる。

（方策）

- ・欠席、遅刻、早退、授業の欠課を減少させる。
- ・集会時等における話を聞く態度、マナーを向上させる。
- ・定期的に全職員で生徒の生活状況の情報交換会を実施する。

- (3) 在学中の就業指導と計画的・体系的なキャリア教育を推進するとともに、体験的な活動を積極的に取り入れる。

（方策）

- ・生徒一人一人に応じた就労を推奨する。
- ・L H R や総合的な学習の時間を利用した進路指導、日本語ワープロ検定・情報処理

技能検定などの資格取得指導等を継続的・計画的に実施する。

- ・外部講師による進路説明会、担任による個人面談のほか、卒業生による進路講話などを計画的に実施する。
- ・生活体験発表会、合同文化祭などの学校行事や部活動などに積極的に取り組ませる。

(4) 心身の健康保持・増進や交通事故防止等の安全教育の推進を図る行事を工夫するとともに、学校カウンセラーとの協働による教育相談体制を充実させる。

(方策)

- ・薬学講座や思春期セミナー、交通教室等を関係機関と連携して実施し、意識の向上を図る。
- ・こころの健康に関する調査等を実施し、生徒指導に役立てる。
- ・学校カウンセラーによるカウンセリング機会を充実させるとともに、学校カウンセラーと協力して、教育相談・生徒指導にあたる。

(5) 家庭や職場、地域と連絡を密にとり定時制教育への理解を進めるとともに、事務部と連携し効率的かつ効果的な学校運営により教育効果を高める。

(方策)

- ・必要に応じて家庭訪問、企業訪問を積極的に実施する。
- ・電話での問合せや来訪者の対応など窓口業務は常に親切・丁寧かつ迅速な対応に努める。
- ・創意・工夫した事務改善を行うとともに、計画的・効率的な予算執行に努める。